



西富士道路と田子浦臨港線建設に伴い、昭和53年5月から2年4ヶ月の歳月をかけた西富士道路埋蔵文化財発掘調査は、伝法A地区からF地区までの6地区、約5万平方㍍の現地調査を終わりました。

発掘調査の結果、伝法A地区とした東平遺跡からは、奈良時代のころの住居址や倉庫などが多数発見され、大規模な集落であったことが確認されました。

伝法F地区とした横沢古墳からは、金銅製の鈴や馬の道具などが、B地区からは室町時代から江戸時代の初めにかけての墓と考えられる土塙群が発見されました。

これらは、いづれも中世・あるいは近世の生活様式を知るうえで貴重な資料となり、現在、西富士道路埋蔵文化財発掘調査事務所では、整理検討作業を進めるに同時に、これらの調査をまとめた報告書を来年の4月に発行する予定です。

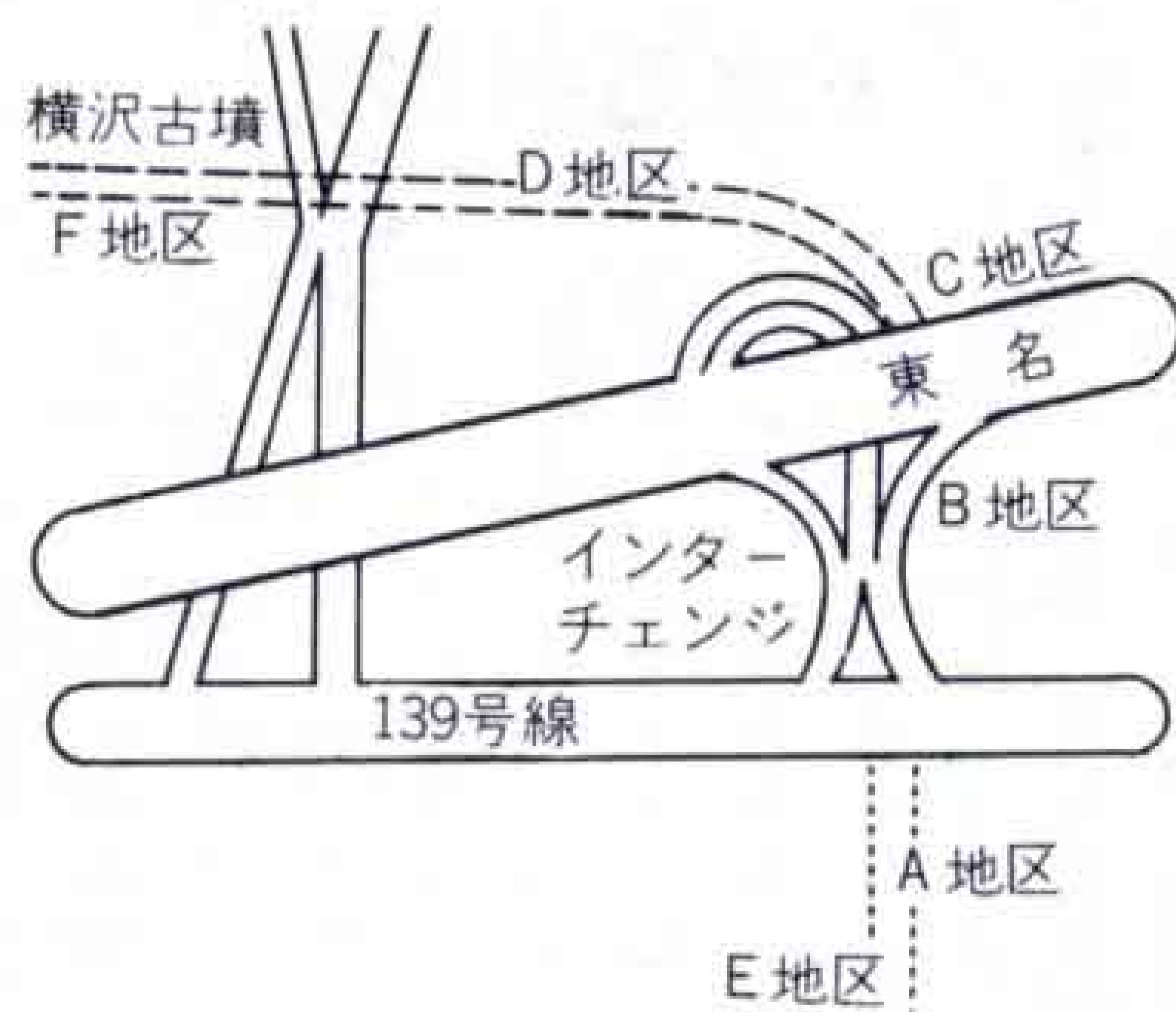
# 古代の歴史をさぐる

## 西富士道路の発掘調査終る

### A地区

#### 県内最大の住居群

今回の発掘調査の中でも特に中心となつたのは、伝法A地区とした東平遺跡の調査解明であり、1年9



ヶ月にわたって行われました。

その結果、奈良から平安時代始めのころの住居址130軒と、倉庫あるいは住居と思われる掘立柱建造物址53棟を発見。

昭和40年、東名高速道路建設当時の調査と合わせると、堅穴住居址250軒、掘立柱建造物址61棟となり、これはこの時代のものとしては、県内でもまれな大集落となることがわかりました。

住居址の中からは、「須恵器」と呼ばれる灰色の土器や「土師器」と呼ばれる素焼きの土器、鉄製の小刀、鎌、やり、糸車などが多く出土しています。

これら出土品の中でも特に注目されるのは、奈良時代の役人が使っていたと思われる帶金具が発見されたことです。この帶金具は、普通の集落では出土しないため、東平遺跡が他の集落とは異なり、律令体制のなかでの地方の中心的役割を果していた集落と考えられます。

### B地区

#### 六文銭で三途の川を

伝法B地区からは、室町時代から江戸時代の初めにかけての墓と考えられる土塙が約400基と、溝状遺構など10本を発見。

土塙十数基の中からは人骨に伴い天目茶碗、火打ち石、小柄、古銭な



#### 親は無責任過ぎませんか

ちかごろテレビドラマの先生ものが人気を呼んでいます。厳しさとやさしさをわきまえて、

どんな子にもよく目をかけ公平に愛情を注いでくれる理想の先生の活躍が人気の秘密なのでしょう。

ところが私は、PTAの会合に出席して驚いたことがあります。

いくら先生が優秀でも家庭の協力なしに子どもの教育はできるはずがないのに、あまりにも親が無責任、無知だと思ったのです。

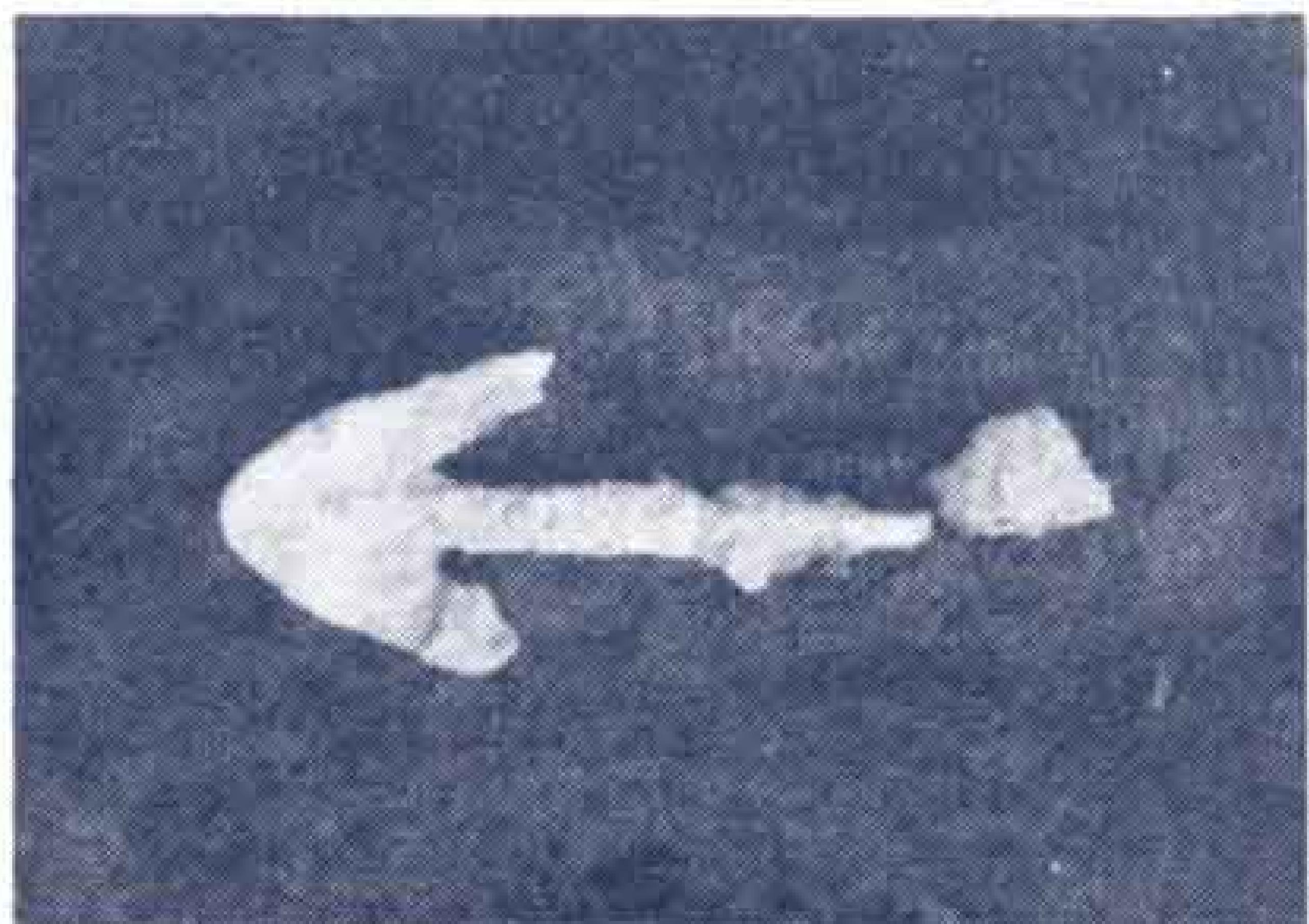
例えば「下校途中で買い物をするので注意してほしい」などに代表される意見です。私の知っている限

りでは、買い物はアイスやジュースが主です。しかも仲間同士でおごり合っているのを見ます。

家族といっしょの夕食まで、どうしてがまんできないのでしょうか。

昔の親は、貧しさを子どもにも話し、お金のありがたみを教えました。親が子に好き放題をさせ、「責任の転嫁を先生に」では、昔の親にはかなわないと思うのですが、どうでしょうか。

(一主婦)



【住居址から出土した矢じり】  
などが出土しています。

これらのことから、この地方の人々が死者の埋葬の際に、これらの物をそなえる風習がすでに始まっていたことがわかります。

さらに土塙の中から、中国錢や寛永通宝などの六文錢が発見されたことは、当時から三途の川を渡るには六文錢が必要——といわれていたことを物語っています。

しかし、これらの出土品が限られた土塙から発見されたことは、生前の身分を意味していたと考えられます。

#### D・F地区

### 地元有力者の古墳？

伝法F地点とした横沢古墳は、6世紀の後半ごろ造られた直径16mの円墳で、当時に近い状態で残っていました。

自然の石を用いた横穴式石室で、この形態の古墳としては大型のものです。

古墳の中から人骨・馬具・鈴・直刀・土器などが多く出土しました。

この古墳の特徴は、7世紀頃石室



【住居址から出土した小刀】  
を改造してあり、このようなことは他の古墳ではありません。

伝法D地区の中原古墳は、8世紀の初めごろに造られた長さ3mの小さな古墳で、開懸などにより大部分が崩されていました。しかし、中からは勾玉や水晶製の切子玉などの副葬品が190点ほど発見されました。

この二つの古墳は、いづれもこの地方の有力者の墓と考えられます。

### 律令体制下の中心的役割

今回の発掘調査によって、東平遺跡解明の貴重な資料となる、住居址や土器、鉄製品など多数が発見されました。

この時代、奈良の都では、律令



A地区から出た集落址

(現在の法律)に基づき天皇を中心とした中央集権の政治が強くおし進められていました。そのため地方の人々は、律令に基づく税負担や労役に窮々とした生活を送っていたと思われます。この東平遺跡も他の遺跡と比べ規模が大きかったり大きいことから、律令体制での地方の中心的役割を果していた集落だったと想像されます。

西暦	江戸時代	安土桃山代	室町時代	鎌倉時代	平安時代	奈良時代	飛鳥時代	古墳時代	区分	
一六〇〇	戸幕府を開く 徳川家康が江	全国を統一 豊臣秀吉が	町幕府を開く 足利尊氏が室	に将軍源朝が開く 鎌倉大	平安京遷都	平安京遷都	大化の改新	伊勢塙古墳 浅間古墳	主なできごと	
一五〇〇	安土桃山代	室町時代	鎌倉時代	平安時代	奈良時代	飛鳥時代	古墳時代			
一三〇〇	伝法A～D地区土塙群					東平遺跡				
一一〇〇	伝法B地区土塙墓									
八〇〇									発掘区分	
七〇〇										
五〇〇										

### あの街



——富士市に来られてどの位ですか。それと印象を……。

亀田 1年4ヶ月になるかしら。臭いと煙にまず驚きました。

でも、真正面に大きな富士山が見えるし、自然が広々として土のにおいもすてきデス。私は横浜で生れ育ったので、とてもそのことを感じます。

——横浜と富士市との違うところはどんなことだと思いますか。

亀田 横浜は新しいことがどんどん入ってくるし、市民の反応が敏感でした。ここへ来て思うんです。なまいきかもしれないけど、タテの社会が強く他人の生活に立ち入りすぎる

ようですね。社会的なみんなの声がないみたい。だからとても仲間づくりがむずかしいですね。働きかけるとひっこんでしまう感じ……。もっといろんなことを言い、いろんな活動をやればいいのに。満足しているのかしら……。それと、若い人の活動がみられないみたい。

——富士市がどんな街になってほしいと思いますか。

亀田 市民が活動する活気ある街になってほしいですね。それと広報紙に注文をしたいんですけど、市民が利用できる伝言コーナーみたいな欄を設けてほしいワ。